

令和5年度第1回鎌ヶ谷市廃棄物減量等推進審議会 会議録

開催日時	令和5年7月31日（月） 午後2時から午後3時まで
開催場所	鎌ヶ谷市本庁舎6階 第2委員会室
委員出席者	伊藤勝、和田光誉、皆川洋子、島田純、矢崎博一、尾崎弘憲、渡邊輝江、佐藤宗之（以上敬称略）
事務局出席者	中川聡（クリーン推進課課長）、神道立丈（クリーン推進課計画管理係長）、久世淳紀（クリーン推進課業務係）、熱海康二（クリーン推進課計画管理係）
傍聴者	なし

< 審議内容等 >

1 会議の成立について

鎌ヶ谷市廃棄物減量等推進審議会の委員定数10名に対し、出席委員8名であり、会議は成立した。

2 会議録の署名人の選出について

市内在住委員の名簿登載順で、出席委員の中から、会議録署名人は皆川委員、島田委員に決定した。

———— 今回の会議は傍聴者なし ————

3 （1）議題 ア 会長及び副会長の選出

会長は互選により伊藤委員に決定し、副会長は互選により高野委員に決定した。

4 （2）報告事項 ア 鎌ヶ谷市の一般廃棄物・リサイクルの現状について

事務局説明：配布資料「鎌ヶ谷市の廃棄物・リサイクルの現状について」に基づき概要を説明

質疑応答

委員

1人1日当たりのごみ排出量が756グラムとなっていますが、これは全国的に見て多いのでしょうか、少ないのでしょうか。

事務局

柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合が策定した、一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）に掲載されている数値では、全国平均及び千葉県平均は約900グラムとなっているため、鎌ヶ谷市はそれに比べて少ないものとなっております。

- 委員 京都市は500グラム以下であったと思いますが、鎌ヶ谷市と同じくらいの人口の自治体と比べて、ごみの量が多いか、少ないか、次回以降の会議の際で結構ですので教えていただきたいと思います。
- 委員 ごみの資源化率が減少傾向にあります。その要因としてどのようなことが考えられますか。
紙ごみが減少しているとのことでしたが、そういったことも要因となっているのでしょうか。
- 事務局 紙ごみが大きく減少していることが要因の1つとして考えられます。
ごみの排出状況を見ると、資源化する余地はあると思っており、今後も市民のご理解ご協力をいただき、資源化率の向上に努めていきたいと思っております。
- 委員 スーパー等の店舗でペットボトル等を回収することが、資源化率に影響するのでしょうか。
- 事務局 影響はあると思われま。
- 委員 資源化率の向上を図っているとのことですから、資源化率が下がっている場合はその理由を記載した方がよいと思っております。
- 委員 令和4年度のごみ排出量は30,288トンであり、そのうち可燃ごみは72パーセントということですが、この可燃ごみを処理する経費どれくらいかかるのでしょうか。
- 事務局 可燃ごみ以外のごみ処理費を含めた金額ですが、令和4年度のクリーンセンターしらさぎの処理に関する経費は、約12億円です。このうち、鎌ヶ谷市分が約7億4千万円、柏市分が約4億6千万円です。
- 委員 印西市にあるごみ処理施設では、2市1町のごみを処理するのに約20億円の経費がかかっていると聞いたことがあるので、それに比べてしらさぎの経費は少ないことが分かりました。
- 委員 新聞紙を捨てる際に、資源の日にごみ集積所に出すか、学校で行っている有価物回収の日に出すか、トイレトペーパーと交換する業者に出すか悩むことがあります。
最近の資源物の売り払い金額はどのようになっていますか。

委員	<p>新聞紙の売り払い金額は下降傾向にあります。ダンボールも同様であり、雑誌についてはほとんど値段がつかない状況です。</p> <p>紙の在庫が多くなっていることや、燃料費が高騰していることから、採算が取れない状態であり、古紙問屋に持ち込んでも分別費用がかかるため値段がつきません。</p> <p>そのため、有価物回収の奨励金で経費の釣り合いを取っている状況です。</p> <p>トイレットペーパーと交換するのは個人で行っていることが多く、会社で行おうとする場合はコストがかかってしまうため、今の売り払い金額では難しい状況です。</p>
委員	<p>過去には、有価物回収に紙ごみを出すと、それだけを持っていかれてしまうことがありましたが、その時は紙の売り払い金額が高かったということでしょうか。</p>
委員	<p>紙の売り払い金額が高いとそのようなことがあります。現在は売り払い金額が下降しています。</p> <p>以前は海外で需要が多く金額が高かったため、国内でも金額が上がっていましたが、今は海外の需要が減り在庫が余っているため、国内の金額が下がっています。</p>

5 (2) 報告事項 イ 鎌ヶ谷市災害廃棄物処理計画の取り組みについて

事務局説明：配布資料「鎌ヶ谷市災害廃棄物処理計画の取り組みについて」に基づき説明

質疑応答

委員	<p>一次仮置場の候補地は、まとまっているのでしょうか、それとも市内に分散しているのでしょうか。</p> <p>分散している場合、面積は各候補地の合計でしょうか。</p>
事務局	<p>候補地は市内に分散しており、面積は各候補地の合計になります。</p>
委員	<p>土地を確保するのは難しいのでしょうか。</p>
事務局	<p>私有地を仮置場とするのは難しいと思われるため、市有地や市が現在借りているスポーツ施設等を候補地としており、廃棄物処理後は原状復帰する約束となっています。</p>

会長 鎌ケ谷市は市域に大きな川が流れていませんが、浸水や洪水の危険性は低いのでしょうか。

事務局 大きな河川が流れている自治体に比べれば洪水による被害は低い可能性があると思いますが、今年の6月や令和元年9月及び10月のように大雨や台風により、浸水被害が発生し、災害による廃棄物が発生しています。

会長 その時は仮置場を使用したのでしょうか。

事務局 仮置場を使用するほど廃棄物が発生しなかったため、使用しませんでした。

6 (2) 報告事項 ウ 柏市とのごみ共同処理協議について

事務局説明：配布資料「柏市とのごみ共同処理協議について」に基づき説明

質疑応答

委員 共同処理を解消した場合、沼南地域のごみはしらさぎに搬入されなくなるという解釈でよろしいのでしょうか。

事務局 今後協議を進めていくことですが、共同処理を解消することとなった場合、沼南地域のごみは柏市のクリーンセンターに搬入され、しらさぎには搬入されなくなることが考えられます。

委員 ごみを処理しているのは、柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合ということですが、白井市はごみを共同で処理していないのに、なぜ組合に加入しているのでしょうか。

事務局 環境衛生組合は、沼南町と白井町がし尿を共同で処理するために設立されました。その後、鎌ケ谷町が加入し3町でし尿を共同で処理することとなりました。

また、沼南町のごみ処理施設は鎌ケ谷市と隣接する地域にあり、その施設の建替えを検討していたところ、鎌ケ谷市と共同でごみを処理することとなり、しらさぎが建設されました。

白井市はごみを印西市等と共同で処理しており、し尿を鎌ケ谷市及び柏市と共同で処理しています。

委員 共同処理を解消する問題点として、しらさぎの運営経費を鎌ヶ谷市単独で負担することとなり、ごみを処理する単価の上昇や、市の財政負担の増加が考えられるということでしょうか。

事務局 そのようなことが考えられます。
共同処理は、分け合える負担があることがメリットとしてあります。
先程約12億円の経費がかかると申し上げましたが、処理量が減ることにより使用する薬剤等が少なくなり、経費は下がるものもあると考えていますが、一定程度の負担をしなければ単独で処理することはできないと思っています。

委員 他にはどのような問題点が想定されますか。

事務局 問題点については、今後の協議により明確になるものがあると考えていますが、単独で処理することで負担する金額が多くなることは大きな問題であると認識しています。

委員 鎌ヶ谷市が単独で処理することとなった場合、ごみ処理手数料を変更する可能性はあるのでしょうか。
それとも、ごみの量が少なくなり、経費が安くなるのであれば、手数料は変わらないのでしょうか。

委員 一定のごみの量を鎌ヶ谷市から排出する分だけで超えるのであれば、ごみ処理に係る単価は変わらないのではないかと思います。そうといったことは今後検証していくのでしょうか。

事務局 今後検討が必要な事項だと考えます。

委員 クリーンセンターは鎌ヶ谷市にあるのでしょうか。

事務局 柏市にあります。

委員 柏市にあるということですが、柏市のごみを処理しなくなった場合、鎌ヶ谷市は新たにごみ処理施設を建設しなければならない可能性もあるということでしょうか。

事務局 そのような可能性も全くないわけではありません。

委員	新しく施設を建設することとなった場合、非常に難しい問題になりますね。
会長	しらさぎの使用期限はあと15年程でしょうか。
事務局	今回実施した長寿命化工事は、15年を目途にしたものです。
委員	この協議について最終的に鎌ヶ谷市がどのように考えるかということですが、ある程度見通しがついた時点でまた報告いただきたいと思います。
事務局	ご報告いたします。
会長	市民は心配していると思うので、ご報告をお願いします。

7 (3) その他

その他意見等なし

会議録署名人署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証明するため、次に署名する。

令和5年8月11日

氏名 皆川 洋子

氏名 島田 純